

ンモニア処理法で2個体から採卵し、D型浮游仔貝を45万個体飼育し、受精後58～79日目に1mm稚貝10.7万個体を種苗生産した。シャゴウは8月30日に2個体を用いて同法で採卵し、受精後129～131日目に1～1.5mm稚貝を3.2万個体種苗生産した。ヒレジャコは8月30日に1個体、9月10日に3個体の親貝を使用して、前2種と同法で採卵したがGWRは13.5～20.2%と低く、幼生飼育時の成長及び生残率も低かったので飼育は前者で7日目、後者で14日目に中止した。

(6) 底生生物調査は8月2日に川平湾浅部7地点でおこなった。また、同一地点で粒度組成と塩酸処理後の残留率についても調査した。結果は前回(1983年)の同地点でのそれと同傾向であった。

(7) 水質等環境調査は、保護水面区域内で下記の項目について実施した。水温、比重、天気率、風向、栄養塩等の水質、クロロフィル量及び透明度。水温の年平均は25.1℃であり、他の項目も例年に比較してそれ程大きな差異はなかった。

参考文献

Braley, R. D (1984) : Coral Reefs, 3, 221 - 227.

沖縄県水産試験場八重山支場 (1975) : 昭和49年度川平保護水面調査報告書、13pp.

\_\_\_\_\_ (1976) : 昭和50年度同上誌、21pp.

\_\_\_\_\_ (1977) : 昭和51年度同上誌、24pp.

\_\_\_\_\_ (1978) : 昭和52年度同上誌、15pp.

\_\_\_\_\_ (1979) : 昭和53年度同上誌、16pp.

\_\_\_\_\_ (1980) : 昭和54年度同上誌、32pp.

\_\_\_\_\_ (1981) : 昭和55年度同上誌、36pp.

\_\_\_\_\_ (1982) : 昭和56年度同上誌、20pp.

\_\_\_\_\_ (1983) : 昭和57年度保護水面管理事業報告書、3 - 29pp.

\_\_\_\_\_ (1984) : 昭和58年度同上誌、3 - 26pp.

\_\_\_\_\_ (1985) : 昭和59年度同上誌、3 - 30pp.

村越正慶 (——) : 昭和60年度日本水産学会秋季大会講演要旨集、P. 185.